

## 今後を見据えた市道の維持管理を！

### 内容

雑木や雑草が道路に覆いかぶさっている状況であることから、通行に支障が生じていたり、安全上の観点からも問題があることから、伐木、除草を行うほか、道路施設の安全対策として区画線の設置、舗装補修等を行う。

※実施箇所については、地区からの要望をもとに現地立ち合い等を行い精査していく。

### 委員会での主な論議

- Q 今後、高齢化により地域で対応できない樹木伐採が増えてくることが予想される中、維持管理費や地元負担の軽減のための抜本的な対策が必要ではないか。
- A 道路改良時に路肩のコンクリート打設などを行い、歩道についても防草対策を考慮した製品の使用についても検討し、費用対効果を考慮しながら対応していきたい。

## 崎方公園グラウンド整備・周辺樹木伐採を前倒しして実施

### 内容

令和5年度に国庫補助を活用した崎方公園グラウンド整備等を計画していたが、維持管理レベルのため補助対象外と判断されたことや、地元から早期着手の要望もあり、市の単独事業により前倒しして実施する。



### 委員会での主な論議

- Q 崎方公園グラウンドの利用状況（利用頻度）は把握しているのか。
- A 当該グラウンドは現在、無料で貸し出ししており、利用申請も不要なため、特に利用状況の把握はしていない。
- Q 費用対効果を考える上で、利用状況は把握すべきでは。
- A 今回は、当該グラウンドの整備が不十分との認識のもと計画したところだが、今後同様の要望があった際は、利用状況の把握や整備効果を考慮し、予算要求していきたい。
- Q 公園周辺の樹木伐採についても予定しているようだが、どのような意図があるのか。
- A 今後、長寿化事業として、遊具の更新や駐車場整備など公園一帯の整備も計画。樹木伐採により、眺望がよくなり、子供たちが公園で遊んでいる姿を保護者が安心して見守ることができるようになるため、グラウンド整備も含め、公園全体の利用者が増加することを期待している。
- Q グラウンドの利用者が増えれば、利用調整が必要となってくるのでは。
- A 整備後の利用状況を見ながら適切な管理に努めたい。



## 9月定例会 ここに注目！

9月定例会（9月5日～9月22日）

### 平戸市職員の定年等に関する条例の一部改正について ほか関連議案 市職員の定年年齢を60歳から65歳へ段階的に引き上げ

#### 議案の提案理由

国家公務員の定年年齢引上げに伴い、地方公務員法も改正され、地方公務員の定年年齢が引上げられることから、平戸市においてもこの法改正にあわせて必要な条例の一部を改正するもの。

#### いつから？ どのように？

令和5年度から、  
2年に1歳ずつ引上げ  
(令和13年度に65歳定年へ)

年度(令和)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
定年年齢(歳)	60	61	62	63	64	65		64		65		
昭和37年度生	定年	暫定再任用										
昭和38年度生	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	暫定再任用(フル・短時間)として勤務可能				
昭和39年度生	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳				
昭和40年度生	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳			
昭和41年度生	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳		
昭和42年度生	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	

関連して導入・新設される制度

制度名	制度の内容
役職定年制(管理監督職務上限年齢制)	役職(管理監督職)定年を60歳とする(※1)
定年前再任用短時間勤務制	60歳に達した日以後、定年前に退職した職員を対象に、短時間勤務者として任用する
情報提供・意思確認制度	対象者が60歳に達する日の前年度に、60歳以後の任用、給与、退職手当に関する情報を提供し、勤務の意思確認を行う

(※1) 原則として行政職給料表等級別職務分類表 4級(班長・係長相当職)が上限となる。

給与に関する措置・・・当分の間、60歳を超える職員の給料月額を、60歳前の7割水準に設定する。

### 令和4年度平戸市一般会計補正予算（第6号） ー新型コロナウイルスワクチン接種事業ー オミクロン株対応の追加ワクチン等接種について

#### 接種対象者

オミクロン株対応ワクチン・・・初回接種(2回目)を完了した12歳以上の人  
小児ワクチン(3回目接種)・・・ // 5歳以上の人

※いずれも前回接種から5か月以上が経過している人

#### 委員会での主な論議

- Q 若い世代を中心に従来型ワクチンの未接種者も多いことから、広報・周知する際は、今回のオミクロン株対応ワクチンの追加接種に併せ、従来型ワクチンの初回接種を現在も行ってきていることを改めて周知するべきではないか。
- A 現在、市ホームページや広報誌等で定期的に周知しているが、オミクロン株対応ワクチンの追加接種に係る広報と併せて、従来型ワクチンの初回接種についても改めて周知していきたい。